

# まちの日記帳



## みんなで楽しく歌おう！ 大人の混声B & G合唱クラブ

6/29

7/13

7/20

「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業」の一環として行われている『大人の混声B & G合唱クラブ』の活動が今年度もスタートしました。

余市町生涯学習サークル「コールアミーケ」の藤田繁氏を講師に迎え、童謡や懐メロなどの様々な曲に、参加者は大いに楽しみながら、生き生きと歌っていました。

今年度は全20回予定されており、いずれも海洋センターで行っています。また、11月に開催される町文化祭・芸能発表の部に出演予定です。どなたでも参加できますので、みなさんお気軽にご参加ください。



## はこ罟、電気柵で有害鳥獣の対策を 有害鳥獣対策講習会

6/30

アライグマ被害の防止や有害鳥獣による被害の防止対策を目的に、後志総合振興局環境生活課と町が共催する、有害鳥獣対策講習会が行われ、16人が参加しました。

講習会では、振興局から道内の有害鳥獣の個体数が増え、住民や農業者に被害を与えていることや、鳥獣保護管理法の内容など関係法に関する説明がありました。その後、ファームエイジ㈱から、アライグマのはこ罟の効率的な設置方法やエゾシカの電気柵の正しいはり方を教わり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

町では今後も、有害鳥獣対策の一環として継続的に講習会を開催する予定です。



## 今年もふるさと応援団が来町 「札幌しゃこたん会」周遊ツアー

7/1

札幌とその近郊に在住している積丹町出身者で構成される「札幌しゃこたん会」（大平源一会長：会員66名）が主催する年に一度の恒例行事、「積丹周遊バスツアー」が行われ、17人の会員が来町しました。

夜には美国町で懇親会が開催され、山本商工会長や松井町長らも駆けつけ、参加者たちはふる里での再会を喜び、旬の食材と美味しいお酒を楽しみながら故郷の思い出話を花を咲かせ、また来年の再会を約束しました。



## 隣町のお友達と交流 びくに保育所交流会

7/13

びくに保育所「ぞう組」の園児5名とふるびら幼児センターみらい「たいよう組」の園児11名との交流会がふるびら幼児センターみらいで行われました。

最初に5人が元気に自己紹介をし、初対面のお友達を前に照れている様子でしたが、お祭りごっこや積み木遊び、「かもつれっしゃ」や「食べ物フルーツバスケット」などの集団遊びを一緒に行っているうちに、徐々に緊張がほぐれ、仲良くなっている様子でした。

最後は写真撮影とお別れの挨拶をして、「また一緒に遊ぼうね」と握手をしてお別れしました。



## 離乳食の重要性を学ぶ 「離乳食教室」

7/20

妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象とした離乳食教室が総合文化センターで行われ、4組の親子が参加しました。

今回も講師には栄養士の神山悦子さん（余市町）を迎え、お母さんたちは赤ちゃんに離乳食が必要な理由や、離乳食を食べさせる際のポイントなどを学びました。

また、参加者で裏ごし体験を行い「タマネギペースト」を作ったり、「ニンジンと豆腐の白和え」「サケのみぞれ煮」など10種類の離乳食を試食し、お母さんたちはわが子の成長に大切な役割を担う離乳食の知識について熱心に学んでいました。



## みんなで夏の思い出作り 保育所親子行事

7/21

びくに保育所「ぞう組」の園児5名が夏の思い出を作ろうと、朝から夜までバーベキューや花火など楽しいひとときを過ごしました。

午前中は、協力いただいた3家庭に子どもたちで力を合わせ歩き、スタンプカードにスタンプを押してもらって、夕食の食材がゲットできるというゲームを楽しみました。

お昼寝前には初めて財布を持ち、グリーンホリデーでアイスクリームのお買い物。夕方は、自分たちで野菜を切ったりするなど、楽しいバーベキューの時間を過ごしました。

最後は親子で、雨も時折降る中でしたが、花火大会も行うことができ、子どもたちは大喜びでした。

